

一 般 質 問

議席番号	8	議員氏名	大 澤 博
項目・要旨	1. 新規就農支援について		
	<p>就農するには、資金・住居・農地・農機具・作業場・販売先の確保、天候や市場価格に左右されやすく、栽培技術と経営能力が必要であります。令和5年度で、新規就農者育成総合支援事業が設けられ、「経営・技術」、「営農資金」、「農地」の各課題に対応できるサポート体制を構築するとともに、最長3年間の営農資金の交付が受けられます。新規就農には、住居・農地をはじめ多くの物が必要となります。都市部より、新規就農するには就農先の状況を把握し就農するまで多大な労力が必要であり、新規就農者育成総合支援事業は有効と考え、そこで伺います。</p> <p>(1) 所信表明には「経営・技術」、「営農資金」、「農地」の各課題に対応できるサポート体制を構築とあります。具体的な内容を伺います。</p> <p>①「経営・技術」サポートはどのような内容なのか伺います。</p> <p>②「営農資金」、サポートはどのような内容なのか伺います。</p> <p>③「農地」サポートはどのような内容なのか伺います。</p> <p>(2) 町には明日の農業担い手育成塾があり、支援対象者は条件を満たせば町内のサポート農家で研修を行なう支援をしています。そこで伺います。</p> <p>①明日の農業担い手育成塾はどのように行われているのか伺います。</p> <p>②農業担い手育成塾の研修を終了した新規就農者は何人ぐらいいるのか伺います。</p> <p>③新規就農者育成総合支援事業は明日の農業担い手育成塾と統合して進めるのか伺います。</p> <p>(3) 就農するには、栽培技術と経営能力が必要ですが、まずは農地の確保が必要です。そこで伺います。</p> <p>① ある就農者は耕作放棄地を見つけ、地図におとし、地権者を探し、借地交渉し、やっと農地を借りることが出来たと言っています。農地の借地をスムーズに行うため耕作放棄地を集約し、農地貸出リストを作り新規就農者に提供することにより、よい就農が出来ると考えますが、町の考えを伺います</p> <p>②上記①の農地借地支援体制を案内図形式で町のホームページに掲載し農地借地がスムーズに出来ると考えますが、町の考えを伺います。</p>		
	2. 空き家対策について		
	<p>町長の所信表明では、民間事業者と相互協力による、空き家を活用した移住・定住環境の整備に努め、空き家所有者が遠隔で相談を受けることができる窓口の設置や、住宅市場への空き家情報の提供を進めるほか、空き家対策の講演会を開催するとありますが、空き家対策を具体的にどのようにするのか伺います。</p> <p>(1) 民間事業者と相互協力による、空き家を活用した移住・定住環境の整備に努めるとありますが、どのように進めるのか伺います。</p>		

- (2) 空き家所有者が遠隔での相談を受ける窓口開設とありますが、どのように進めるのか伺います。
- (3) 深谷市では、地域の自治会と「空き家等の見守りに関する協定」を結び、見守り・調査依頼・相談調査・報告等を行っています。地域に詳しい自治会の見守りは、空き家への情報収集と対応が迅速に出来ると考えます。当町でも地域の自治会と「空き家等の見守りに関する協定」を締結する考えがあるか伺います。

### 3. パートナーシップ及びファミリーシップ宣誓制度について

同性のカップルなどを「結婚に相当する関係」と認めるパートナーシップ宣誓制度はこれまでもありましたが、ファミリーシップ宣誓制度は、同居する子どもも家族として認める制度です。カップルが「宣誓書」などを自治体に提出すると、家族と証明するカードが発行され、パートナーの子どもが保育所に入る手続きなどが代わりにできるようになります。

全ての人の人権が尊重され、性自認・性的指向にかかわらず、誰もが自分らしく生きることができる社会を実現するため、パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度を実施している自治体が増えています。性的マイノリティーの方は人口の3%～5%と言われていています。町は、講演会を開催し宣誓制度の実施に向けて準備を進めるとありますが、パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度を令和5年度中に実現すべきと考えますが、町の考えを伺います。

議席番号	15	議員氏名	田母神節子
項目・要旨	1. 少子化対策の充実・強化について		
	<p>町長は所信表明の重点施策1点目に「少子化対策の充実・強化」をあげています。また、基本目標の1、夢と創造力にあふれ未来を拓く人を育むまちの中では、結婚を希望する男女の出会いの機会の提供、妊娠から出産までの環境づくりや、子育て支援交付金の第1子出生時交付金が2万円から3万円に増額されます。子育てには大変お金がかかります。安心して産み、育てるための支援を積極的に充実する必要があると考えます。そこで伺います。</p> <p>(1) 子育て中（18歳まで）の家庭への家賃50%補助について</p> <p>(2) 18歳までの国民健康保険税の均等割の無料化について</p> <p>(3) 2歳児以下の保育料の無償化について</p> <p>(4) 波久礼駅からの児童・生徒の通学費の補助について</p>		
	2. 健康長寿事業の積極的展開について		
	<p>重点施策4点目に「健康長寿の積極的展開」があります。また、基本目標3、支えあいとふれあいのある健康長寿のまちでは、日ごろからの健康的な運動や生活習慣、生きがいづくり、介護予防等があげられています。そこで伺います。</p> <p>(1) 病気の早期発見、早期治療のために、75歳以上の医療費の窓口負担をなくすべきと考えますが、町の考えを伺います。</p> <p>(2) 日ごろから健康に留意するには毎日歩くこと、ノルディックウォーキング教室が計画されています。大変良いことですが、75歳（高齢者）には大変な負担です。私が実際参加して感じました。そこで、ノルディックポールウォーキングを行うべきと考えます。ポールを有効に使うことを中心に歩くことは大変意義があると考えます。町の考えを伺います。</p> <p>(3) 毎日の食事は重要です。料理講習を誰でも行えるよう実習をすること、自分で作って食べることが億劫でない年のとり方が重要と考えます。高齢者の方が自分で料理を作り、食べる講習が必要と考えますが、町の考えを伺います。</p> <p>(4) デマンドタクシーの有効活用について。免許返納者が増え、高齢者が遠くに行くことが困難になっています。安心して医者にかかれるために町内にない医療関係機関への送迎にデマンドタクシーを利用できるようにすべきと考えますが、町の考えを伺います。</p>		

議席番号	1 2	議員氏名	佐 藤 理 美
項目・要旨	1. 少子化対策の取り組みについて		
	<p>(1) 少子高齢化や人口減少、東京一極集中が進む中においてどう地域の活力を高め、安心して暮らせる地域社会を築いていくのかは我が国の重要課題であり、少子化は想定以上のスピードで進行している状況です。また少子化の進行は、労働供給の減少、経済成長率の低下、社会保障負担の増加など、社会経済に大きな影響を及ぼすと考えます。また、そのカギを握るのは「子ども・子育て支援策」のさらなる充実と考えます。国においても、やっと「少子化対策」に本腰を入れるとともに、最重要政策に「子ども・子育て政策」を掲げ、従来とは次元の異なる少子化対策に取り組むとしております。そのような中、峯岸町政初となる令和5年度予算編成(案)では、基本方針において重要施策の一つ目に「少子化対策の充実・強化」を掲げております。また少子化対策には町全体の総合力の向上・底上げが不可欠であり、少子化対策元年の思いを込めて取り組むとしています。そこで、地域の実情や課題に応じた少子化対策について伺います。</p> <p>①当町における少子化の現状と課題について</p> <p>②新たな「結婚新生活支援事業補助金制度」創設の取り組みについて</p> <p>③妊娠8ヶ月目の妊婦に対し、訪問事業実施の取り組みについて</p> <p>④第1子出生時交付金支給の増額の取り組みについて</p> <p>(2) 本年4月、国において「こども家庭庁」が発足します。少子高齢化により、人口減少に歯止めがかからない今、抜本的な対策が求められております。「こども家庭庁」では、子ども政策に携わる関係府省の担当部局を統合するとともに、政府内にまたがる他の調整機能を集約し、縦割り行政の弊害を打破し「子育て支援の強化」のほか貧困や虐待といった問題の解決を目指すとしています。「子どもの幸せを最優先する社会」また、すべての子どもの成育を総合的に支援するため「こどもまんなか行政」の推進について伺います。</p> <p>①町長部局と教育委員会との連携を図る取り組みについて</p> <p>②いじめの長期化・重大防止のため、町長部局に専門家を配置する取り組みについて</p> <p>③保育園の所管を町長部局から教育委員会に移管し、幼稚園・保育園・認定こども園を1つの課に統合する取り組みについて</p> <p>④子どもの視点に立った「子ども議会」開催の取り組みについて</p>		

(3) 少子化の要因と指摘されているのが「結婚離れ」です。国の統計によると、減少傾向が続く県内の婚姻件数は昨年、出生数とともに過去10年で最少となる見込みであることが報告されております。そこで、伺います。

①これまで「出会いの場」創出事業実施の現状と課題について

②「男女共同参画社会」の実現を踏まえ、女性の社会進出の取り組みについて

(4) 出生数が減少する中、全国的に分娩を扱う施設が減少傾向にある中、今後さらなる施設の集約化などは避けられないと指摘する声もあります。その背景には慢性的な産科医不足が続いている状況があげられておりますが、産科医不足は妊婦や医療業界だけの問題ではなく、地域の存続を左右することにもつながりかねないと考えます。そこで、安心して出産が迎えられるための環境整備について伺います。

①当町においての分娩の現状と課題について

②妊産婦健診時の「交通費補助制度導入」のお考えについて

議席番号	1	議員氏名	本間政道
項目・要旨	1. 空き家対策事業について		
	<p data-bbox="284 286 1484 376">前年度から令和5年度の空き家対策事業の予算(案)が406万8千円と拡充され上程されました。</p> <p data-bbox="284 392 1484 481">平成30年の調査結果によりますと、寄居町の空き家率は18.3%、秩父市について埼玉県で2番目となっております。空き家は2,860戸でした。</p> <p data-bbox="284 497 1484 586">空き家の問題は全国的にも、また寄居町としても解決しなければならない案件と考えております。</p> <p data-bbox="284 602 1484 692">空き家の所有者の方々が寄居町に在住していない場合もあろうかと思いますが、個人の所有物ですので、慎重に対応すべき事からです。</p> <p data-bbox="284 707 523 741">そこで伺います。</p> <p data-bbox="284 757 1013 790">(1) 寄居町の空き家戸数の現状について伺います。</p> <p data-bbox="284 806 981 840">(2) 空き家についての苦情等はあるか伺います。</p> <p data-bbox="284 855 1045 889">(3) 所有者等への告知や連絡などの方法を伺います。</p> <p data-bbox="284 904 1077 938">(4) 全く連絡先が分からない空き家はあるか伺います。</p> <p data-bbox="284 954 1268 987">(5) 空き家活用株式会社・空き家バンク等活用での成果を伺います。</p>		
	2. 健康長寿のまち事業について		
	<p data-bbox="284 1104 1484 1294">第6次寄居町総合振興計画後期基本計画の基本目標3「支えあいとふれあいのある健康長寿のまち」の基本方針(1)健康づくりの推進の中で「健康長寿計画」に基づき、正しい知識に基づく生涯を通じた健康づくりを進めることが必要と明記しております。</p> <p data-bbox="284 1310 1484 1400">主な取り組みとして日常生活の中で健康的な運動習慣・生活習慣を身につけられるよう、ウォーキング事業等を推進するなどです。</p> <p data-bbox="284 1415 1484 1505">しかし残念ながら寄居町の健康寿命は男女ともに埼玉県の平均より低い数値で推移しております。</p> <p data-bbox="284 1520 1484 1610">皆野町にあります「み～な子ども公園」を見学させていただいたのですが、子どもたちの遊具とともに、大人が使える健康遊具が充実しておりました。</p> <p data-bbox="284 1626 555 1659">そこで伺います。</p> <p data-bbox="284 1675 1433 1709">(1) 町内に高齢者が利用できる健康遊具がある公園や施設等があるか伺います。</p> <p data-bbox="284 1724 1077 1758">(2) 健康長寿事業で健康遊具の施策はあるか伺います。</p> <p data-bbox="284 1774 1484 1921">(3) 今後市街地、特に賑わい創出交流広場「YORIBA」が多くの人に利用していただき町民の憩いの場になるように、「YORIBA」に健康遊具を設置することは可能か伺います。</p>		

議席番号	14	議員氏名	原口孝
項目・要旨	1. 町長の所信表明について		
	<p data-bbox="276 237 898 275">町長の所信表明について質問いたします。</p> <p data-bbox="276 288 1469 432">所信表明において重点施策として「少子化対策の充実・強化」「地域内経済循環の促進」「教育施策の充実・強化」「健康長寿事業の積極的展開」の4つのテーマを掲げております。そこで伺います。</p> <p data-bbox="276 445 632 483">(1) 少子化対策について</p> <p data-bbox="304 497 1469 586">①50種類からなる子育て支援、少子化対策で新規を含め様々な施策が展開されていますが優先的に行うべきことは何か、伺います。</p> <p data-bbox="304 600 1469 689">②少子化対策において各課が連携して、その課題解決に向け取り組んでいるものは何か、伺います。</p> <p data-bbox="276 703 823 741">(2) 地域内経済の循環の促進について</p> <p data-bbox="304 754 1469 844">①町地域通貨Yorika（ヨリカ）の利用方法が大きな影響を持つと思いますが、その目標はどこにあるのか、伺います。</p> <p data-bbox="304 857 1469 1001">②「町行政の仕事は町の業者で」町内業者の入札参加を促すためにも、調査基準価格の活用が重要です。これこそが町の循環経済構築の一步となり得ると考えます。調査基準価格の活用の考えを伺います。</p> <p data-bbox="276 1014 616 1052">(3) 教育施策について</p> <p data-bbox="304 1066 1469 1155">①複式学級解消に向け、令和5年度の取り組みと解決への最終年度目標はいつなのか、伺います。</p> <p data-bbox="304 1169 1469 1258">②様々なデータを活用した自由研究を通じて社会学が学べると考えますが、実行しているのか、伺います。</p> <p data-bbox="276 1272 807 1310">(4) 健康長寿の積極的展開について</p> <p data-bbox="304 1323 1469 1413">①「私は大丈夫が一番危ない」予防・検診・生活・医療従事者・町・町民が一体となり健康長寿に取り組む仕組みが必要と考えますが、伺います。</p> <p data-bbox="304 1426 1469 1570">②筋肉トレーニングや様々な運動を踏まえデータベース化にして目標を持つことが重要であると考えます。システムの構築が必要ですが、その課題についての受け止め方を、伺います。</p> <p data-bbox="304 1583 1469 1673">③健康遊具を設置し、歩きたくなる町中、健康への意識革命を呼び起こす施策に対しての考え方を伺います。</p> <p data-bbox="276 1686 600 1724">(5) DX推進について</p> <p data-bbox="304 1738 1469 1827">①役場に「行かない・待たない・書かない」三無業務の推進について、伺います。</p> <p data-bbox="304 1841 1469 1930">②デジタル化とは言え伝統と文化が融合した町づくりが大切です。DX推進の活用目標・方針について伺います。</p>		

議席番号	10	議員氏名	鈴木詠子
項目・要旨	1. 令和5年度当初予算におけるDXの推進について		
	<p>令和5年度予算の重点項目事業の一つとして「DX推進」に関する事業が予算計上されており、峯岸町長の令和5年度行財政運営に関する所信表明にも「町民の皆さまが実感できるDXの推進を図る」とあります。当町での本格的な「誰ひとり取り残さないデジタル化」へ、実効性のある推進となるよう町の考えを伺います。</p> <p>(1) デジタル基盤改革支援補助金及び、デジタル田園都市国家構想交付金の活用方法について</p> <p>(2) 中心市街地周辺地域の回遊性を高めるためのデジタル技術を活用したスマートフォンアプリ開発の内容について</p> <p>(3) 鉢形城歴史館常設展示へのデジタル技術活用の内容について</p> <p>(4) 高齢者・障害者のためのデジタルデバイド（情報格差）の対策について</p>		
	2. AYA世代がん患者の支援について		
	<p>15歳以上40歳未満の思春期・若年成人をAYA (adolescent and young adult) 世代と呼びます。AYA世代のがん患者は、就学、就労、結婚等の時期と治療の時期が重なることから、進学や就職の機会の減少や治療の影響による外見の変化、不妊等に対する支援や療養環境の充実などが重要と考えます。特に末期がんの在宅療養（ターミナルケア）では電動ベッド、車いすなどのレンタルが必要になりますが、40歳以上は介護保険、19歳以下は小児慢性特定疾病の医療費助成によって費用負担が軽減されるものの、20歳から39歳は制度の狭間となっています。そこで当町の対応について伺います。</p> <p>(1) AYA世代がん患者のターミナルケア在宅療養支援助成事業の実施について</p> <p>(2) AYA世代のがん患者等が希望を持ってがん治療等に取り組めるよう、将来子どもを出産することができる可能性を温存するための妊孕性温存療法等の助成事業について</p>		
	3. 太陽光発電施設設置に関する町の対応について		
<p>当町では平成30年6月に太陽光発電施設の設置に関するガイドラインを制定し、太陽光発電施設を計画している事業者（設置者）に対し、防災、環境保全、景観との調和、地域住民の生活環境の保全といった観点から、安全や周辺環境等に配慮し、隣接住民等に事業内容を周知した上で、適正な事業の実施を求めています。大切な地域の環境とそこに住む地域住民の身近な暮らしを守ることがこのガイドラインの第一義であると考えますが、この内容に関して現在懸念される地域の状況もあり、ガイドラインだけでは対応できない、町独自の条例を制定すべきとの声があります。</p>			



そこで既存事業も含めた太陽光発電施設設置に関する今後の町の対応について伺います。

- (1) 当町の太陽光発電施設設置の現状について
- (2) ガイドラインに沿った住民説明会開催の実施状況について
- (3) 太陽光発電施設設置に関する条例の制定について

議席番号	13	議員氏名	稲山良文
項目・要旨	1. 少子化対策について		
	<p data-bbox="284 286 1481 479">ロシアのウクライナ侵攻から一年が経過し、ドロ沼の戦況は終結、停戦、和平は不透明で、この事により世界情勢は悪化し、政治経済に多様な影響を持たらし、原油高が元凶となりエネルギー関連、食料、飼料等物価高騰で国民生活に重くのしかかっています。</p> <p data-bbox="284 497 1481 1102">こうした状況下、令和5年度は第6次寄居町総合振興計画後期基本計画の2年目を迎え町長の重点施策として「少子化対策の充実・強化」「地域内経済循環の促進」「教育施策の充実強化」「健康長寿事業の積極的な展開」の4項目を掲げ積極的な展開を図りたいと所信を表明しました。その中でも特に少子化、人口減少に強い思いを感じたところです。本年度を少子化対策元年と位置づけ町全体で充実・強化に取り組むたいと力強く述べられました。主要事業として7項目が新施策として具体的に述べられていますが、少子化の社会現象は結婚、出産、育児、子育て教育等の家庭、家族構成が変化し生活環境が多様化したこと、男女平等、同権、社会の共同参画等女性の社会的地位の向上等現代の社会情勢が反映し少子化社会の一因と考えられますが、出産育児子育て教育に関する出費が家庭に重くのしかかり、将来を考えると第1子あるいは第2子と制限しなくてはならない経済情勢も一因と考えられます。</p> <p data-bbox="284 1120 1481 1258">子どもは家庭、家族で育てる社会的な感覚が強く根付いているのではないのでしょうか。その社会的感覚を変える「子どもは社会全体」で育てる事の社会変革、意識改革を目指す事が重要と考えます。</p> <p data-bbox="284 1276 1481 1361">国でも少子化対策を重要政策としこども家庭庁の創立をはじめ、子どもに関する諸政策に関する予算を倍増する見込みです。そこで伺います。</p> <p data-bbox="284 1379 1481 1832"> (1) 児童手当の所得制限について町長の所見を伺います。  (2) 児童手当の倍増、大幅増額を計るべきと考えますが所見を伺います。  (3) 18歳までの教育の無償についての所見を伺います。  (4) 給食費の第2子の1/3、2/3、3/3と段階的な無償化を図るべきと考えますが、町の考えを伺います。  (5) 学習塾の授業料の一部補助について伺います。  (6) 小中学生の通学補助事業について、通学距離等の補助内容を見直し、より多くの児童生徒を補助対象とすべきと考えますが、町の考えを伺います。  (7) 城南中学校区小中学校集約化小中一貫教育の推進状況について伺います。 </p>		